

**千葉周作** 剣客。北辰一刀流の祖。近代的な教授法と昇段制の改革などで俊秀が集まり、江戸随一の道場の名声。

ちばしゅうさく

ワヅ 正月・1794 = 陸奥国栗原郡荒谷村(宮城県古川市)で、豪農の養子となった獣医の次男に生まれ、

伊能測量始・1800 = 6歳 : 父から北辰夢想流の教えを受け始め、

**アメリカ船来航始**1803 = 9歳 :

その非凡な才能が知られるようになって、

**フェート号事件** 1808 = 14歳 : 家老屋敷での青年剣術大会に呼ばれて優勝、

浮世風呂・ 1809 = 15歳 : 本格的な修業のため一家で江戸近郊の松戸に移り、

・ 1810 = 16歳 : 小野派一刀流の浅利又七郎義信入門、師の世話で旗本の喜多村石見守正秀に仕えるかたわら剣に精進、

**ゴロウコン拿捕** 1811 = 17歳 : 門下で五指に入るほどになり、又七郎の娘綾と恋仲となって跡継ぎと見做され、武者修業に出た後、

**高田屋拿捕**・1812 = 18歳 : 江戸の宗家中西忠兵衛子正に学ぶことになった。

喜多村家に奉公の後、その非凡な才能に磨きをかけ、

伊能測量終・1816 = 22歳 : わずか3年で免許皆伝。

綾を妻として浅利家の養子となるとともに、小浜酒井家の剣術指南役も譲られると、他流試合を通じて研究を重ね、北辰一刀流を打ち立て、

**水野忠成老中**1818 = 24歳 :

・ 1820 = 26歳 : 流儀の宣伝弘布をかねて諸国を巡歴し、他流試合を通じて自信を深め、

伊能図完成・1821 = 27歳 :

**英船浦賀来航**1822 = 28歳 : \*江戸に帰って、日本橋に道場玄武館を開く。

**シブ 朴鳴滝塾**1824 = 30歳 : 長男が誕生、

異国船打払令1825 = 31歳 : {玄武館}を神田お玉が池に移転、近代的な教授法と昇段制を採用するとともに、<異国船打払い令>が出されて朝野を挙げて武術鍛錬の気風が盛んとなり、さらに、滝沢馬琴が小説「伊香保の額論」で名を広めてくれたこともあって、門人が急増、

富籤流行・ 1830 = 36歳 : 次男が誕生、

富籤三十六景1831 = 37歳 : 父が死去、

高島砲術・ 1834 = 40歳 : この頃には、江戸三大道場の一つとして並び称されるようになり、

滑稽+人情本 1835 = 41歳 : \*水戸弘道館演武場に出張教授をして称賛を得、水戸藩士に登用される。

**大塩平八郎乱**1837 = 43歳 :

**蛮社の獄**・ 1839 = 45歳 :

やがて、江戸随一の道場の名声を得、3000人に及ぶ弟子を擁して月謝だけで千両を超える。

海保帆平、井上八郎、森要蔵、塚田孔平ら名剣士や、清川八郎など幕末に活躍した人物も出る。

**阿部正弘首座**1845 = 51歳 : 幕臣にまでになった。

・ 1848 = 54歳 :

尊徳報徳論・1851 = 57歳 : \*門人が3600人に達したのを機に月謝をとらなくなり、

病弱な長男に代わって次男・三男を後継者として育成しながら、

**ペリー来航**・1853 = 59歳 : 坂本竜馬が入門、

安政大地震・1855 = 61歳 : \*水戸藩中奥詰昇進直後に、没した。